



はじめに

平成25年1月、在アルジェリア邦人に対するテロ事件では、邦人10人を含む多数の人が犠牲となりました。また、台風第26号を始めとする自然災害においても、多数の死者・行方不明者が出るなど甚大な被害が生じました。警察では、それぞれの事案に対し、国際テロリズム緊急展開班（TRT-2）の派遣による情報収集活動、広域緊急援助隊等による救出救助活動等を実施したところですが、警察の責務を果たすためには、今後も全国警察が一丸となって各種活動に取り組んでいく必要があります。さらには、米国・ボストンにおいてマラソン大会を標的とした爆弾テロ事件が発生しましたが、2020年にはオリンピック・パラリンピック大会が東京において開催されることとなり、これまで以上に万全のテロ対策が求められるところです。

他方、国内の治安情勢では、過激派が在日米空軍横田基地に向けて飛翔弾を発射する事件を引き起こしたほか、いわゆる右派系市民グループと反対勢力との間で暴行事件やトラブルが発生するなどしました。また、サイバー攻撃においては、「水飲み場型攻撃」と呼ばれる手口が出現するなど、その脅威は急速に高まっています。

さらに、北朝鮮による核実験の実施や中国公船による接続水域への入域や領海侵入等の国際情勢も、我が国に大きな脅威をもたらしました。

警察では、今後も、治安情勢を的確に分析・把握し、公安の維持を図るため各種対策を的確に講じていきます。

※ 掲載内容は、特に記載のある場合を除いて、平成25年12月末現在のものです。

※ 「焦点」は、警察庁ウェブサイトにも掲載しています (<http://www.npa.go.jp/keibi/index.htm>)。